

学年:	6年生	Stage:	7月	コード:	K6101	単位:	38.8
モジュール名	総合歯科学Ⅱ -7月			科目担当責任者	淵田 慎也		
モジュール名(英字)	Review of Dentistry II			コース名	KPS 神歯大固有科目系		
一般目標(GIO)	歯科医師として歯科医療及び保健指導を掌ることによって、公衆衛生の向上及び増進に寄与し、国民の健康な生活を確保するために必要な知識・態度を網羅的に習得する。						
ユニット:一般目標	1. 総合歯科学Ⅱ 歯科医療及び保健指導を掌ることによって、公衆衛生の向上及び増進に寄与し、国民の健康な生活を確保するものとする歯科医師として必要な知識・態度を網羅的に習得する。						

教育目標

ディプロマポリシー	DP1-1/1-2/1-3	DP2-1/2-2/2-3	DP3-1/3-2/3-3	カリキュラムポリシー-CP	CP1,CP2,CP3
	a / a / a	a / a / a	a / b / b		
a:学習成果を上げるために特に強く履修することが求められる科目 b:学習成果を上げるために強く履修することが求められる科目 c:学習成果を上げるために履修する科目					
教科書等 記号 / 書名 / 著書など / 発行所・HPアドレスなど					

評価方法

出欠席							
モジュール試験(%)	0						
アクティビティ(%)	0						
	アクティビティ詳細(%)	事前試験	実技評価	レポート	口頭試問	態度評価	その他
再試験の評価方法							
フィードバックについて							
アクティブラーニング							

学修範囲(事前事後学修)	事前:教科書で予習 事後:配付資料で復習
コアカリ(令和4年)	
国試出題基準(令和5年)	

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
250_7/2.1限	2026/07/02	1	0	講義	34番教室	60
ユニット	矯正11					
サブユニット	臨床実地(1)					
授業目標	1)臨床実地のkey wordを説明できる。 2)ポリゴン表の見方を説明できる。					
キーワード	顔貌所見、ポリゴン表、上下顎の前後関係、上下歯軸関係、下顎の垂直関係、顔面骨格の前後的な分類、					
担当	高橋 正皓					
学修範囲(事前事後学修)	事前:教科書 事後:配布資料					
コアカリ(令和4年)						
国試出題基準(令和5年)						

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
251_7/2.2限	2026/07/02	2	0	講義	34番教室	60
ユニット	矯正12					
サブユニット	臨床実地(1)					
授業目標	3)Ⅲ級症例を説明できる。 4)外科矯正を説明できる。					
キーワード	成長期における反対咬合の治療方針と装置、骨格性反対咬合、デンタルコンペンセーション、デンタルディコンペンセーション、顎手術法、下顎側方偏位、					
担当	高橋 正皓					
学修範囲(事前事後学修)	事前:教科書 事後:配布資料					
コアカリ(令和4年)						
国試出題基準(令和5年)						

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
252_7/2.3限	2026/07/02	3	0	講義	34番教室	60
ユニット	歯周9					
サブユニット	薬物療法、レーザー治療、口臭検査、口呼吸の治療					
授業目標	抗菌薬物療法、咬合治療、欠損補綴治療、歯冠修復、歯科矯正治療について説明できる					
キーワード	LDDS,レーザー、VSC					
担当	杉原 俊太郎					
学修範囲(事前事後学修)	事前:教科書で予習 事後:配布資料で復習					
コアカリ(令和4年)	D-2-5-3					
国試出題基準(令和5年)	必修9-カ-c,総論VI-2-ウ-a,総論VI-2-ウ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
253_7/2.4限	2026/07/02	4	0	講義	34番教室	60
ユニット	歯周10					

サブユニット	口腔機能回復治療とメンテナンス
授業目標	メンテナンスとサポータティブペリオドンタルセラピーが説明できる
キーワード	矯正、補綴、インプラント、メンテナンス、SPT
担当	杉原 俊太郎
学修範囲(事前事後学修)	事前:教科書で予習 事後:配布資料で復習
コアカリ(令和4年)	E-2-5-4
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅲ-2-ウ-a,各論Ⅲ-2-ウ-b,各論Ⅲ-2-ウ-c,各論Ⅲ-2-ウ-d,各論Ⅲ-2-ウ-e,各論Ⅲ-2-ウ-f,各論Ⅲ-2-オ-a,各論Ⅲ-2-オ-b,各論Ⅲ-2-イ-a,各論Ⅲ-2-イ-b,各論Ⅲ-2-イ-c,各論Ⅲ-2-イ-d,各論Ⅲ-2-イ-e,各論Ⅲ-2-イ-f,各論Ⅲ-2-イ-g,各論Ⅲ-2-イ-h,各論Ⅲ-2-ウ-g

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
254_7/3_1限	2026/07/03	1	0	講義	34番教室	60
ユニット	Cr-Br9					
サブユニット	連結					
授業目標	連結法の種類を列挙し説明できる。					
キーワード	固定性連結, 半固定性連結, 可撤性連結, 一塊鑄造法, CAD/CAM法, ろう付け法, ろう付け間隙, コア, フラックス, アンチフラックス, ろう, ろう付け用埋没材,					
担当	星 憲幸					
学修範囲(事前事後学修)	配布資料 教科書					
コアカリ(令和4年)						
国試出題基準(令和5年)						

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
255_7/3_2限	2026/07/03	2	0	講義	34番教室	60
ユニット	Cr-Br10					
サブユニット	硬質レジン前装冠					
授業目標	硬質レジン前装冠を説明できる。					
キーワード	オベーク, 機械的維持力, リテンションビーズ, 金属接着プライマー, カットバック, ヘビーシャンファー					
担当	星 憲幸					
学修範囲(事前事後学修)	配布資料 教科書					
コアカリ(令和4年)						
国試出題基準(令和5年)						

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
256_7/3_3限	2026/07/03	3	0	講義	34番教室	60
ユニット	修復11					
サブユニット	コンポジットレジン修復、接着					
授業目標	コンポジットレジン修復、接着を説明できる。					
キーワード	コンポジットレジン修復、接着システム					
担当	向井 義晴					
学修範囲(事前事後学修)	配布資料					
コアカリ(令和4年)						
国試出題基準(令和5年)						

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
-------	-----	----	---	------	----	-----------

257_7/3_4限	2026/07/03	4	0	講義	34番教室	60
ユニット	修復12					
サブユニット	コンポジットレジン修復、接着					
授業目標	コンポジットレジン修復、接着を説明できる。					
キーワード	コンポジットレジン修復、接着システム					
担当	向井 義晴					
学修範囲(事前事後学修)	配布資料					
コアカリ(令和4年)						
国試出題基準(令和5年)						

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
258_7/6_1限	2026/07/06	1	0	講義	34番教室	60
ユニット	全部床9					
サブユニット	仮床義歯試適					
授業目標	全部床義歯の仮床義歯試適について説明できる。					
キーワード	歯肉形成、?義歯試適					
担当	清水 統太					
学修範囲(事前事後学修)	”事前:教科書で予習 事後:配布資料で復習”					
コアカリ(令和4年)						
国試出題基準(令和5年)						

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
259_7/6_2限	2026/07/06	2	0	講義	34番教室	60
ユニット	全部床10					
サブユニット	埋没・重合、咬合調整					
授業目標	1)埋没・重合について説明できる。 2)全部床義歯の咬合調整について説明できる。					
キーワード	埋没、流蝕、レジン?入、重合、リマウント、咬合調整					
担当	清水 統太					
学修範囲(事前事後学修)	”事前:教科書で予習 事後:配布資料で復習”					
コアカリ(令和4年)						
国試出題基準(令和5年)						

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
260_7/6_3限	2026/07/06	3	0	講義	34番教室	60
ユニット	口腔外科21					
サブユニット	顎関節疾患①					
授業目標	顎関節の発育異常、顎関節の腫瘍性疾患					
キーワード	顎関節の発育異常、顎関節の腫瘍性疾患					
担当	大鶴 光信					
学修範囲(事前事後学修)	配布資料					
コアカリ(令和4年)						
国試出題基準(令和5年)						

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
261_7/6_4限	2026/07/06	4	0	講義	34番教室	60
ユニット	口腔外科22					
サブユニット	顎関節疾患②					
授業目標	顎関節の炎症, 顎関節脱臼					
キーワード	顎関節の炎症, 顎関節脱臼					
担当	大鶴 光信					
学修範囲(事前事後学修)	配布資料					
コアカリ(令和4年)						
国試出題基準(令和5年)						

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
262_7/7_1限	2026/07/07	1	0	講義	34番教室	60
ユニット	部分床9					
サブユニット	印象採得					
授業目標	1) 部分床義歯の印象採得について説明できる。					
キーワード	解剖学的印象・機能印象、弾性・非弾性印象材、単一・連合印象材、概形印象・精密印象、オルタードキャスト法、ダイナミック印象					
担当	濱野 奈穂					
学修範囲(事前事後学修)	事前:教科書で予習、4年時の配布資料などで再確認 事後:配布資料・教科書・国家試験問題で復習					
コアカリ(令和4年)	D-5-3-2-4,D-5-3-2-9					
国試出題基準(令和5年)	必修11-ケ-e,必修11-セ-c,総論VII-2-ア-d,各論IV-4-イ-b,各論IV-4-ウ-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
263_7/7_2限	2026/07/07	2	0	講義	34番教室	60
ユニット	部分床10					
サブユニット	咬合採得、ろう義歯試適、埋没					
授業目標	1) 部分床義歯の咬合採得について説明できる。 2) 部分床義歯のろう義歯試適・埋没について説明できる。					
キーワード	咬合採得(仮想咬合平面、フェイスポートランスファー、垂直・水平的顎位、標示線など)、ろう義歯試適、埋没(アメリカ式、フランス式、アメリカ・フランス併用式)					
担当	濱野 奈穂					
学修範囲(事前事後学修)	事前:教科書で予習、4年時の配布資料などで再確認 事後:配布資料・教科書・国家試験問題で復習					
コアカリ(令和4年)	D-5-3-2-5,D-5-3-2-6,D-5-3-2-7,D-5-3-2-8,D-5-3-2-9,D-5-3-2-10					
国試出題基準(令和5年)	必修11-ケ-e,総論VII-2-ア-d,各論IV-4-イ-c,各論IV-4-イ-d,各論IV-4-ウ-e,各論IV-4-ウ-f					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
264_7/7_3限	2026/07/07	3	0	講義	34番教室	60
ユニット	小児15					
サブユニット	咬合誘導					
授業目標	1) 咬合誘導の概念を説明できる。 2) 歯列・咬合の診察と分析法について説明できる。 3) 歯列・咬合を乱す異常に対して理解し処置方法を説明できる。4) 保隙装置の種類、適応症および使用上の留意点を説明できる。 5) 保隙装置を選択できる					
キーワード	保隙装置、クラウンループ・バンドループ、ディスタルシュー、リンガルアーチ、可撤保隙装置					
担当	浅里 仁					

学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書 p 313～329 保隙装置の分類と各装置の適応症についてよく理解しておくこと。 事後学修 講義内容
コアカリ(令和4年)	
国試出題基準(令和5年)	

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
265_7/7_4限	2026/07/07	4	0	講義	34番教室	60
ユニット	小児16					
サブユニット	咬合誘導					
授業目標	1) 動的咬合誘導について診査と診断ができる。 2) 乳歯列期の咬合誘導について説明できる。 3) 混合歯列期の咬合誘導について説明できる。 4) 外科的誘導法について説明できる。					
キーワード	混合歯列模型分析法、空隙管理 永久歯萌出余地不足に対する処置、トリミング法・ディスクング法、咬合調整法、スペースリゲイニング、歯列弓の拡大、咬合誘導のための抜歯、外科的咬合誘導					
担当	浅里 仁					
学修範囲(事前事後学修)	混合歯列模型分析法、空隙管理 永久歯萌出余地不足に対する処置、トリミング法・ディスクング法、咬合調整法、スペースリゲイニング、歯列弓の拡大、咬合誘導のための抜歯、外科的咬合誘導					
コアカリ(令和4年)						
国試出題基準(令和5年)						

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
266_7/8_1限	2026/07/08	1	0	講義	34番教室	60
ユニット	組織7					
サブユニット	口腔組織学					
授業目標	①歯周組織の構造及び機能を説明できる。					
キーワード	歯肉、口腔粘膜(被覆粘膜、咀嚼粘膜、特殊粘膜)、味蕾					
担当	河田 亮					
学修範囲(事前事後学修)	配布資料					
コアカリ(令和4年)						
国試出題基準(令和5年)						

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
267_7/8_2限	2026/07/08	2	0	講義	34番教室	60
ユニット	薬理7					
サブユニット	薬理作用② 薬物の適用と体内動態 薬物の副作用・有害作用					
授業目標	4) 薬物の適用方法の種類とその特徴を説明できる。 5) 薬物動態(吸収、分布、代謝、排泄)を説明できる。 6) 薬物の一般的副作用、有害作用と口唇・口腔・顎顔面領域に現れる副作用、有害作用を説明できる。					
キーワード	経口投与、注射適用、直腸内適用、 初回通過効果、バイオアベイラビリティ、pH、受動輸送、解離、非解離、脂溶性、血漿タンパク、アルブミン、シトクロムP450、抱合、 アナフィラキシーショック、消化管障害、喘息、出血時間延長、造血機能障害、骨粗鬆症、歯肉腫脹、歯牙着色・形成不全、					
担当	高橋 俊介					
学修範囲(事前事後学修)	配布資料					
コアカリ(令和4年)	A-6-1-1,A-6-1-2,A-6-2-1,A-6-2-2,A-6-2-3,A-6-2-4,A-6-2-5,A-6-3-1,A-6-3-2,A-6-3-3,A-6-4-1,A-6-4-2,A-6-4-3,A-6-4-4,A-6-4-5,A-6-4-6					

国試出題基準(令和5年)	必修11-コ-a,必修11-コ-b,必修11-コ-c,総論VII-8-ア-a,総論VII-8-ア-b,総論VII-8-ア-c,総論VII-8-イ-a,総論VII-8-イ-b,総論VII-8-イ-c,総論VII-8-イ-d,総論VII-8-イ-e,総論VII-8-ウ-a,総論VII-8-ウ-b,総論VII-8-ウ-c,総論VII-8-ウ-d,総論VII-8-ウ-e,総論VII-8-ウ-f,総論VII-8-ウ-g,総論VII-8-ウ-h
--------------	--

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
268_7/8_3限	2026/07/08	3	0			
ユニット	確認試験10					
サブユニット						
授業目標						
キーワード						
担当						
学修範囲(事前事後学修)						
コアカリ(令和4年)						
国試出題基準(令和5年)						

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
269_7/14_1限	2026/07/14	1	0			
ユニット	認定試験3					
サブユニット						
授業目標						
キーワード						
担当						
学修範囲(事前事後学修)						
コアカリ(令和4年)						
国試出題基準(令和5年)						

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
270_7/14_2限	2026/07/14	2	0			
ユニット	認定試験3					
サブユニット						
授業目標						
キーワード						
担当						
学修範囲(事前事後学修)						
コアカリ(令和4年)						
国試出題基準(令和5年)						

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
271_7/14_3限	2026/07/14	3	0			
ユニット	認定試験3					
サブユニット						
授業目標						
キーワード						
担当						
学修範囲(事前事後学修)						
コアカリ(令和4年)						
国試出題基準(令和5年)						

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
272.7/14.4限	2026/07/14	4	0			
ユニット	認定試験3					
サブユニット						
授業目標						
キーワード						
担当						
学修範囲(事前事後学修)						
コアカリ(令和4年)						
国試出題基準(令和5年)						

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
273.7/15.1限	2026/07/15	1	0	講義	34番教室	60
ユニット	矯正13					
サブユニット	臨床実地2					
授業目標	1)上顎前突を説明できる。 2)開咬を説明できる。					
キーワード	成長期における治療方針と装置 、II級開咬、II級過蓋咬合、矯正装置、口腔筋機能療法(MFT)、骨格性分類、アデノイド、個々の不正咬合、歯列の不正咬合、垂直的及び水平的不正咬合、過剰歯、先天欠如歯					
担当	山口 徹太郎					
学修範囲(事前事後学修)	事前:教科書 事後:配布資料					
コアカリ(令和4年)						
国試出題基準(令和5年)						

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
274.7/15.2限	2026/07/15	2	0	講義	34番教室	60
ユニット	矯正14					
サブユニット	臨床実地2					
授業目標	3)下顎側方偏位(交叉咬合)を説明できる。 4)診断所見を説明できる①。					
キーワード	模型分析、機能性交叉咬合、骨格性交叉咬合、					
担当	山口 徹太郎					
学修範囲(事前事後学修)	事前:教科書 事後:配布資料					
コアカリ(令和4年)						
国試出題基準(令和5年)						

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
275.7/15.3限	2026/07/15	3	0	講義	34番教室	60
ユニット	口腔外科23					
サブユニット	顎関節疾患③					
授業目標	顎関節強直症, 顎関節症					
キーワード	顎関節強直症, 顎関節症					
担当	末永 英之					

学修範囲(事前事後学修)	事前:教科書 事後:配布資料
コアカリ(令和4年)	
国試出題基準(令和5年)	

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
276_7/15_4限	2026/07/15	4	0	講義	34番教室	60
ユニット	口腔外科24					
サブユニット	外傷①					
授業目標	軟組織の外傷					
キーワード	軟組織の外傷					
担当	末永 英之					
学修範囲(事前事後学修)	事前:教科書 事後:配布資料					
コアカリ(令和4年)						
国試出題基準(令和5年)						

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
277_7/16_1限	2026/07/16	1	0	講義	34番教室	60
ユニット	修復13					
サブユニット	レジンインレー、セラミックインレー、セメント					
授業目標	レジンインレー、セラミックインレー、セメントについて説明できる。					
キーワード	コンポジットレジンインレー、セラミックインレー、グラスアイオノマーセメント修復、合着用セメント、接着性セメント					
担当	向井 義晴					
学修範囲(事前事後学修)	配布資料					
コアカリ(令和4年)						
国試出題基準(令和5年)						

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
278_7/16_2限	2026/07/16	2	0	講義	34番教室	60
ユニット	修復14					
サブユニット	レジンインレー、セラミックインレー、セメント					
授業目標	レジンインレー、セラミックインレー、セメントについて説明できる。					
キーワード	コンポジットレジンインレー、セラミックインレー、グラスアイオノマーセメント修復、合着用セメント、接着性セメント					
担当	向井 義晴					
学修範囲(事前事後学修)	配布資料					
コアカリ(令和4年)						
国試出題基準(令和5年)						

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
279_7/16_3限	2026/07/16	3	0	講義	34番教室	60
ユニット	放射線13					
サブユニット	【画像診断】顎骨に発生する歯原性良性腫瘍と腫瘍類似疾患					
授業目標	1)顎骨に発生する歯原性良性腫瘍の画像診断について説明できる。 2)顎骨に発生する腫瘍類似疾患の画像診断について説明できる。					
キーワード	歯原性良性腫瘍、線維骨性疾患、巨細胞性病変					

担 当	香西 雄介
学修範囲(事前事後学修)	配布資料
コアカリ(令和4年)	E-2-5-4
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅲ-2-カ-a,各論Ⅲ-2-カ-b,各論Ⅲ-2-カ-c,各論Ⅲ-2-カ-d,各論Ⅲ-2-カ-e,各論Ⅲ-2-カ-f,各論Ⅲ-2-カ-g

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
280.7/16.4限	2026/07/16	4	0	講義	34番教室	60
ユニット	放射線14					
サブユニット	【画像診断】顎骨に発生する非歯原性良性腫瘍と腫瘍類似疾患					
授 業 目 標	1)顎骨に発生する非歯原性良性腫瘍の画像診断について説明できる。 2)顎骨に発生する腫瘍類似疾患の画像診断について説明できる。					
キーワード	非歯原性良性腫瘍、骨関連病変					
担 当	香西 雄介					
学修範囲(事前事後学修)	配布資料					
コアカリ(令和4年)	E-2-5-4					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅲ-2-カ-a,各論Ⅲ-2-カ-b,各論Ⅲ-2-カ-c,各論Ⅲ-2-カ-d,各論Ⅲ-2-カ-e,各論Ⅲ-2-カ-f,各論Ⅲ-2-カ-g					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
281.7/17.1限	2026/07/17	1	0	講義	34番教室	60
ユニット	歯内9					
サブユニット	歯内療法の各論 臨床実地 I					
授 業 目 標	歯髄炎の治療法、使用器具が説明できる。					
キーワード	手用器具、作業長測定、根管洗浄、根管充填、仮封					
担 当	鈴木 二郎					
学修範囲(事前事後学修)	事前:教科書で予習 事後:配布資料で復習					
コアカリ(令和4年)						
国試出題基準(令和5年)						

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
282.7/17.2限	2026/07/17	2	0	講義	34番教室	60
ユニット	歯内10					
サブユニット	歯内療法の各論 臨床実地 I					
授 業 目 標	根尖性歯周組織疾患の治療法、使用器具が説明できる。					
キーワード	手用器具、作業長測定、根管洗浄、根管充填、仮封					
担 当	鈴木 二郎					
学修範囲(事前事後学修)	事前:教科書で予習 事後:配布資料で復習					
コアカリ(令和4年)						
国試出題基準(令和5年)						

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
283.7/17.3限	2026/07/17	3	0	講義	34番教室	60
ユニット	歯周11					
サブユニット	歯周組織の突発性病変・ライフステージを通じた歯周治療					
授 業 目 標	小児、思春期、高齢、妊娠、更年期、周術期の歯周治療、突発性病変の種類と対処法を説明できる					

キーワード	歯肉膿瘍、歯周膿瘍、歯の動揺、移動、破折
担 当	小牧 基浩
学修範囲(事前事後学修)	
コアカリ(令和4年)	
国試出題基準(令和5年)	

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
284.7/17.4限	2026/07/17	4	0	講義	34番教室	60
ユニット	歯周12					
サブユニット	歯周病の予防管理・特殊な歯周病					
授 業 目 標	歯周病の予防、特殊な歯周炎の種類と処置法を説明できる					
キーワード	侵襲性歯周炎、NUC.Down症候群、低フォスファターゼ症、Papillon-Lefevre症候群、好中球減少症、Chondrocyte-Higashi症候群					
担 当	小牧 基浩					
学修範囲(事前事後学修)						
コアカリ(令和4年)						
国試出題基準(令和5年)						

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
285.7/21.1限	2026/07/21	1	0	講義	34番教室	60
ユニット	微生物8					
サブユニット	ウイルス感染症					
授 業 目 標	1)ウイルス感染症に関わるウイルスの病原性が理解できる。					
キーワード	DNAウイルスとRNAウイルス					
担 当	川上 絢子					
学修範囲(事前事後学修)	配布資料					
コアカリ(令和4年)						
国試出題基準(令和5年)						

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
286.7/21.2限	2026/07/21	2	0	講義	34番教室	60
ユニット	病理8					
サブユニット	炎症1					
授 業 目 標	炎症総論を説明できる					
キーワード	生体の防御反応					
担 当	槻木 恵一					
学修範囲(事前事後学修)	パーフェクトマスター					
コアカリ(令和4年)						
国試出題基準(令和5年)						

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
287.7/21.3限	2026/07/21	3	0	講義	34番教室	60
ユニット	口腔外科25					
サブユニット	外傷②					
授 業 目 標	下顎骨骨折					
キーワード	下顎骨骨折					

担 当	大鶴 光信
学修範囲(事前事後学修)	配布資料
コアカリ(令和4年)	
国試出題基準(令和5年)	

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
288_7/21_4限	2026/07/21	4	0	講義	34番教室	60
ユニット	口腔外科26					
サブユニット	外傷③					
授 業 目 標	上顎骨骨折, ?骨骨折					
キーワード	上顎骨骨折, ?骨骨折					
担 当	大鶴 光信					
学修範囲(事前事後学修)	配布資料					
コアカリ(令和4年)						
国試出題基準(令和5年)						

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
289_7/22_1限	2026/07/22	1	0	講義	34番教室	60
ユニット	全身管理7					
サブユニット	循環器疾患					
授 業 目 標	循環器疾患について説明できる。					
キーワード	循環器疾患					
担 当	杉田 武士					
学修範囲(事前事後学修)	配布資料					
コアカリ(令和4年)						
国試出題基準(令和5年)						

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
290_7/22_2限	2026/07/22	2	0	講義	34番教室	60
ユニット	全身管理8					
サブユニット	循環器疾患					
授 業 目 標	循環器疾患について説明できる。					
キーワード	循環器疾患					
担 当	杉田 武士					
学修範囲(事前事後学修)	配布資料					
コアカリ(令和4年)						
国試出題基準(令和5年)						

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
291_7/22_3限	2026/07/22	3	0	講義	34番教室	60
ユニット	麻酔7					
サブユニット	救急処置					
授 業 目 標	1)歯科治療中の偶発症を列挙し、機序や処置法について説明できる					
キーワード	血管迷走神経反射、過換気症候群、アドレナリン過敏症、局所麻酔薬中毒、アナフィラキシーショック、メトヘモグロビン血症					
担 当	今泉 うの					

学修範囲(事前事後学修)	事前:教科書で予習 事後:配布資料で復習
コアカリ(令和4年)	
国試出題基準(令和5年)	

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
292_7/22_4限	2026/07/22	4	0	講義	34番教室	60
ユニット	麻酔8					
サブユニット	救急処置					
授業目標	1)全身麻酔中の血圧・脈拍の異常について原因や対処法を説明できる。 2)救急蘇生法について説明できる。					
キーワード	一次救命処置、二次救命処置、心停止、AED、異物誤嚥、ハイムリック法					
担当	今泉 うの					
学修範囲(事前事後学修)	事前:教科書で予習 事後:配布資料で復習					
コアカリ(令和4年)						
国試出題基準(令和5年)						

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
293_7/23_1限	2026/07/23	1	0	講義	34番教室	60
ユニット	障害者7					
サブユニット	摂食嚥下運動の動態					
授業目標	摂食嚥下運動のメカニズムを説明できる					
キーワード	舌骨喉頭挙上、食道入口部開大、輪状咽頭筋弛緩					
担当	小松 知子					
学修範囲(事前事後学修)	配布プリント					
コアカリ(令和4年)						
国試出題基準(令和5年)						

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
294_7/23_2限	2026/07/23	2	0	講義	34番教室	60
ユニット	障害者8					
サブユニット	摂食嚥下運動の動態					
授業目標	摂食嚥下運動のメカニズムを説明できる					
キーワード	咽頭収縮、声帯閉鎖					
担当	小松 知子					
学修範囲(事前事後学修)	配布プリント					
コアカリ(令和4年)						
国試出題基準(令和5年)						

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
295_7/23_3限	2026/07/23	3	0	講義	34番教室	60
ユニット	小児17					
サブユニット	心身障害児への歯科的対応					

授業目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 心身障害児の定義を説明できる。 2) 心身障害児歯科診療の問題点について説明できる。 3) 心身障害の種類と全身所見・口腔内所見について理解し説明できる。 4) 心身障害児の歯科的対応について説明できる。 5) 心身障害児の歯科診療計画を立案できる
キーワード	<p>障害の種類と特徴 精神発達遅滞、Down症候群、脳性麻痺、自閉症・広汎性発達障害、てんかん、口唇・口蓋裂、障害児への歯科的対応、TECCHアプローチ</p>
担当	浅里 仁
学修範囲(事前事後学修)	<p>事前学修範囲 教科書 p 365～382 心身障害の種類と特徴(全身の所見、口腔所見)、歯科的対応についてよく理解しておくこと。</p> <p>事後学修 講義内容</p>
コアカリ(令和4年)	
国試出題基準(令和5年)	